

令和6年度 林業普及週間現地情報(5/13～5/17)

森林管理課

今帰仁村地域材利用促進プロジェクトチームによる会議の開催

5月13日(月)

令和6年5月13日、今帰仁村地域材利用促進プロジェクトチームのメンバーにより会議を開催した。当日は今帰仁村経済課、今帰仁村教育委員会、沖縄北部森林組合、製材・乾燥業者、木工者、県森林資源研究センター等から参加があった。

昨年度から実施している地域材利用促進モデル事業では、これまでに今帰仁村内のクスノキ林を収穫伐採し、製材を行い、昨年12月から製材した板の天然乾燥を行っている状況であり、今年度は人工乾燥実施後、木工所にて製品製作、使用する今帰仁小学校への納品までを予定している。会議では地域材利用促進モデル事業の進捗状況や今年度の実施計画内容、製作予定製品図面の共有、また前年度製材した板材の乾燥状況データの共有を図り、人工乾燥の実施タイミング等について検討、調整した。板については用途別に30mm厚材と60mm厚材があるが、30mm厚材については現時点で含水率20%程度まで落ちていると想定され、7月を目途に人工乾燥を実施する方向で調整していくこととなった。60mm厚材については、今年度製品にするためには、ある程度含水率が高い状態で人工乾燥を実施する必要性があることを確認し、今後も乾燥状況を確認しながら再度関係者間で調整することとした。

今後も本プロジェクトチームによる調整、検討を重ねることで地域材利用に向けた取組を進め、また本取組を活用して市町村職員への技術等普及に取り組むことで地域材利用の促進に繋げていきたい。



会議の様子



天然乾燥中のクスノキ板材

(報告者：北部農林水産振興センター 仲里、佐野、西岡、國吉)